

北原産業

独自の極薄嵌合が好評

ラインアップ拡充で展開加速

北原産業（岡山県倉敷市、☎086・526・3040）は「タイトカップ（スリム）」

シリーズのラインアップ強化を図り、展開を積極化している。抜群の密閉性で定評のある

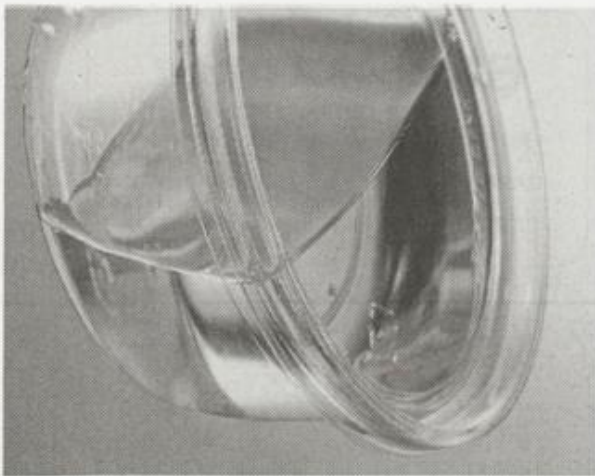
「タイトカップ」シリーズのラインアップ強化を図り、展開を積極化している。抜群の密閉性で定評のある

「タイトカップ（スリム）」は、シート成形品としては限界に近いとされる嵌合部の薄さが特徴の気密性透明容器。従来品と同等かそれ以上の密閉性を有しながらも、蓋は緩くはまり、緩く外れるため作業効率化が図れる。高い機能を持つ極薄嵌合の設計は、独自開発の金型により実現した。

Ａ―PET樹脂の透明性を引き立てるのは蓋・本体共にリップのないシンプルで美しい形状。スリムな嵌合で蓋天面を広く見せることができるため、平台や最下段での陳列時にも高い訴求効果が得られる。従来品とほぼ同等の天面の広さを維持しながら、容量を5%程度少なく設計しており、中身の減容を図れるのもポイントだ。また嵌合部のスリム化によって、平面に陳列している

た際の空気が狭くなるため、ぎっしりと詰まった感の演出ができる。

同社は、空気を通さず中身が漏れにくいと評価の高い「タイトカップ」を1998年に上市し、時代のニーズに合わせて新たな提案を重ねてきた。同社の技術力・開発力の集大成ともいえる「タイトカップ（スリム）」の新技術は絶賛を博しており、需要が堅調に推移していることから、サイズバリエーションを続々投入。このほど同様の嵌合設計を採用した角型の「タイトケース（スリム）」を発売するなど、展開を加速している。



タイトカップ（スリム）

高い評価

に市場で

計は、独自開発の金型により実現した。

ている。